

平成 21 年度実施

第 2 回深谷市環境エコ川柳優秀作品一覧

<特選>

マニフェストだけじゃ止まらぬ温暖化 (きんたろう)

<準特選>

天の川今日も輝くエコの日々 (恵顧)

CO2 食べる草樹にありがとう (蜂朗)

<佳作>

帰省するエコ運転で土産増え (上田英司)

ひと手間をかけて環境リサイクル (齋藤浩一)

わんぱくにエコの未来をおしえられ (新井喜市)

エコバッグ持参ポイントまたひとつ (小林芳江)

ホームレス白くま君の目に涙 (古戸和代)

審査総評

審査員 深谷市瀬山・てじま晩秋
深谷市東方・酒井 青二

今年のテーマは、昨年に引き続き「環境エコ」となりました。応募下さいました市民の皆様方に感謝申し上げます。

審査に当たり、二つの基準を頭に置いて採点をしました。一つは作者がどのように「環境エコ」に関わり、取り組んでいるか。もう一つは、川柳の基本が守られているかどうかを重点に審査しました。

○ 特選「マニフェスト」の句

この句は時事川柳的な句いがするものの、リズム、内容、句姿もしっかりしていて好感を持ちました。選考審査委員一致で特選に推挙しました。

○ 準特選「天の川」の句

エコを天の川に結びつけたことに、作者の詩ころを感じました。公害も汚染もない、そんな世の中にしなければなりません。美しい地球のままで子孫に譲り渡す責務があります。

○ 準特選「CO₂」の句

この句は、自然への感謝が込められていて、あったかい。草も木も、そして私達も CO₂ 削減の原動力にならなければなりません。「ありがとう」の表現が良かった。

「帰省する」の句

一人一人がエコを心掛けることによって大きな力になる。作者は、エコ運転で土産が増えたと喜びを表現した。

「ひと手間を」の句

手法も手慣れていてまとまった句になっていますが、具体性に欠けるためインパクトに欠ける。

「わんぱくに」の句

この句で一番良かったことは、「おしえられ」をひらがなにしたことです。欲をいえば、どんな未来を教えられたのかを具体的に表現すれば更に良かった。

「エコバッグ」の句

この句を詠むときは、二段で詠むことです。最初は「エコバッグ持参」、一息入れて「ポイントまた一つ」と詠む、そうしますと句意が伝わります。

「ホームレス」の句

この句を見て何を言っているのか分からない人が多いと思います。北極の氷が溶けてしまって、白クマが戸惑っている様子を「ホームレス」と表現したのです。

結びに「環境エコ川柳」が暮らしの中に根付くことを審査員一同、願っております。

選者の句

限りある資源と子供たち踊る

てじま 晩秋

エコカーが時代先取りして走る

酒井 青二